常磐毎日新聞

八月二十三日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵送料五拾錢
廣告料　普通一行五拾錢　場所指定二行一行五拾錢
發行所　常磐毎日新聞社　電話　本社　番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（郵送口座）東京　四〇二〇〇番

暗闇からヌウッと……
三人組の強盜
兇器で脅し蟇口强奪
捕れた二名は福島炭礦坑夫
他の一名は逃走行衛を晦す

二十二日午後八時近い頃赤井村高萩地内を永戸村農柴崎初義さん(四六)が通行中暗闇から突然三人組の怪青年に襲はれ兇器を突付け一四五十十錢在中の蟇口を强奪されたが犯人は逃走、屆出により直ちに小山田駐在巡査が追跡二名を逮捕した處、いづれも同村福島炭礦坑夫市毛定男(二六)高木河夫(二七)の兩名で他の一名は何れへか行衛を晦し目下捜索中である

洋畫壇の重鎭
小寺畫伯來郡
小瀧に一週間滯在
作品展も開催

郡内玉川村小瀧鑛泉主人渡邊渡氏は弟術を通じて郷土文化の向上に寄與せんと襄に荒木十畝畫伯の力作頒布會を開いて好評を博したが今回同氏多年の宿望であつた洋畫塾の重鎭小寺健吉畫伯の來遊を懇請漸く快諾を得、廿七日から一週間の豫定で小瀧鑛泉に滯在する事に決定したので地方の有力な鑑賞家の間に頒布會の議が起り廿三日から小瀧の洋間に作品展覽會を催し一般の來觀を歡迎する事になつた、出陳作品は廿餘點、何れも同畫伯畢生の力作揃ひにて見る者に感銘の苦熱を忘れしめ涼風颯々たるを覺えしめると

養蠶飼ひ方

平蠶蠶實行組合聯合會の晩秋蠶飼ひ方に關する講話會は二十四日午後一時から第四小學校講堂で開かれる講師は甲斐蠶業取締平支所長

若い娘が服毒
新川端で苦悶
情人への面當てか
危い一命を取止む

平市堂ノ前林シヅエさん(二三)は二十二日午後九時頃警察署裏新川端でカルモチンを呑み自殺をはかつて苦悶中を通行人に發見され大森醫院に擔ぎ込み手當の結果生命は取止めた原因はつれなくなつた情夫への面當とみられる

滿鮮支座談會
三縣議招待

長橋壯年團では來る廿五日午後七時から性源寺に於て野崎藏藏、遠沼龍輔、關内正一の三縣議を招き滿鮮支旅行座談會を開き團員等が右三氏との間に親しく對談大陸に就いての關心を深める由

自動車事故
昨年は卅三件

平署管内昨年中の事故件數はトラック二十五件、乘用車八件合計三十三件であつたのに鑑み自動車營業者は此程同署會議室に事故防止懇談會を開いて事故防止に萬全を期すことになつた

便利な習字板を
表具屋さんが發明
實用新案特許さる

平市月見町美術表具店主石川榮三郎さん(四一)は「兒童用日の丸習字板」の研究を完成實用新案特許申請中であつたがこの程許可の通知があつたこの習字板は半紙判のセロファンに特殊の藥品を含ませて製造した下敷で墨の乾燥がよく袖口や手などを汚すやうなことない一方紙の節約にもなり習字の上達が早いといふ尚同氏は物資統制によつてゴム製品が制限されフットボールや軟式野球用ボールの購入が困難になつたのを逆ひ廢物のボロ・屑や紙屑を利用代用品を發明目下特許申請中である

矢吹農場で
中堅農が實習

石城中堅農民養成講習生男女六十名は九月四日から七日迄矢吹修練農場で現地訓練を受ける

高壓線感電

植田

團費を節約

平市久保町青年團は團費を節約して得た金五圓二十五錢を今二十三日國防獻金として市役所に寄託した

金庫の鍵を
忍かに使用し
公金横領の嫌疑

平署では目下玉川村役場元收入役代理若松清彌氏(三九)の身柄を拘束取調べを行つてゐるが同氏は在任中金庫の鍵二個の内一個のみを引繼ぎ殘る一個を忍かに使用して公金を拔取つたといふ嫌疑にあり取調べの進展に連れ擴大するのではないかと見られてゐる

匕首で刺す
酒盛の大喧嘩

内郷村白水入山炭礦川平坑々夫小野十郎(二一)は十八日夜自宅で同僚の小野傳吉さん(四五)と飲酒中些細のことから口論をはじめ懷ろにしてゐた匕首で頭部を突刺し瀕死の重傷を負はせたことと發覺今二十三日平署に檢擧された

インチキ種兎
不良商人の手で侵入

最近インチキ種兎を持込む不良商人が跋扈し郡下各町村農會が極度に警戒中であるがインチキ兎の侵入は四月初旬からボツ〳〵開始され八月上旬に至つて猖獗を極めたもので種類はさきに農林當局が毛皮國策を弊害する不良種と指定したレッキス有色種マスクラットの兩種レッキスは虚弱な點で

團結成を悅ぶ
小名濱新青年
支局長小野務平

青年團の組織は其名稱こそ變つても誕生は相當古い歴史を以て居る明治初年、幕政から代つて若衆と稱した時代もあるそれから若組となつて青年團となるまでの間はこれ亦相當永い歳月であつた而して若衆や若組と云つた時代には智能の修養に供した痕跡は絶いてなく僅かに認め得らるゝものは隣保親善の美風であつた事である、然し是れも多くは春秋に於ける飲食の會合に過ぎない結果で却つて此の集合から喧嘩口論に及んで反對の現象を顯はす場合も絶無と言へない所を傳聞するのである

所が青年團との名稱に變つてから團員は智育に体育に美德涵養の源泉と云ふ意義を齎し進んで國家隆昌の原動力となるものであるとの重大意義を高揚するに至つた、更に昭和九年十一月二十二日附で國運進展の基礎は青年の修養に待つこと多し諸子能く内外の情勢に顧み恒に其本分を盡し奮勵協力以て所期の目的を達成するに努めん事を望むとの時の總裁殿下の令旨があつたに徴しても青年團員の任務の重大なるを知る事が出來る

處が更に從來實施された組織の消防組や、防護團なども解体して發防團と改組し青年教育も義務制として實施さるゝに至り隨つて舊來の青年團を解体して新青年團の組織と代つたのであるから其發揚さるゝ元氣の程も察せらるゝに至るであらうこの新意義を以て改組結成された小名濱青年團は既報の如く二十一日午前十時小學校講堂に於て其結成式を擧行し初めて其陣容の整備を見るに至つたのである今その新舊青年團の著しき相違點は年齢に制限を置いた點で從來は青年層を去つた老年を拉し來つて分團長たらしめた如き矛盾もあつたが、今は其弊を除いて全く新人を以て之れに當らしめた一事は新青年團の長所である

但て會長は新舊共に西山校長を以て推戴したがこれはそうでなくてならない理由がある青年學校義務制から來たる教育的見地に依つて茲に至る事勿論で其他は即ち副團長として小野義一、舟生伊佐美、第一分團長佐藤德太郎、副線安夫、小島源一郎、副馬上豊、馬上明、第二區分團長樋口二郎、副佐川連平、小野瀬仲夫、第三區分團長茂木吉榮、副長瀬誠明、松本清の諸氏で何れも中堅青年層の猛者である所に本青年團の將來がある、此の諸氏に依つて青年團結成の意義を盡し高揚されん事を祈んで已まぬ次第である

（完）

ネコを呑んで
病弱青年自殺

内郷村高坂磐炭雜夫小林義雄君(二九)は二十日から平驛前福住旅館に宿泊してゐたが二十二日午後五時頃ネコ自殺を遂げた、原因は病弱を悲觀したもの

木炭同業
評議員會招集

濱三郡木炭同業組合では二十六日平團体事務所で評議員會を開き十三年度の決算及び業務成績報告理事の任免に關し協議すると

三兄弟
武勲を競ふ

上遠野村字大平農平子重幸さん(三三)の長男安一伍長並に次男忠雄特務兵は目下前線で活躍中だが今度は三男の常幸君が應召〇〇日勇躍出發、三兄弟が武勲を競ふことになり名譽の一家として證へられてゐる

將棋の
入賞者

既報、平將棋互樂會の八月例會は二十三日植田町内五丁目吉田屋で開催出場四十名で覇を爭つたが左の如く入賞した

△好間門脇春義△平吉田濱吉、大塚千代吉、神保市藏△好間三瓶保二△平佐藤榮歩、谷口弘△好間伊藤高雄△平石口龍馬、安孫子藤一

遺言文
遺留品中に

既報、前線で散華した川部村字沼部出身柿田敬藤上等兵の付箋は過般執行された遺留品を整理中、陣中日誌の中に覺悟のほども床しい遺言文と共に「戰死した場合は宵年團始め小學校、在郷軍分會、國防婦人分會に各五十圓宛寄附されたい」と記してあつたのを發見したので直ちに以上の銃後團体に合計二百圓を寄附村民を感激させた

植田警防團
貯水池
三ケ所設置

植田町警防團の設備強化に關する幹部會は二十二日植田署で開催されたが本町裏通りの古川を利用して三ケ所に貯水池を造り町民の不安を一掃することになつた

民政部會
新役員決定

石城民政部會で此程決定した役員左記の如くである

（會長）鷲澤昇（副會長）草野三郎、吉田五平（幹事長）萩原義雄（常任幹事）鈴木盛之助外幹事廿名

妻よ歸れ
平に潜伏か

東京市荒川區尾久町四ノ一、八五七根本語さんは妻のトシ(二〇)が去る七日無斷家出行方を晦したからと今二十三日平署に捜索を依頼して來た

トシさんは家出前金錢を浪費して申しわけないと詫つて居り遊び人風の黒澤佐吉(二〇)に誘拐された形跡があり十二才の女兒は置去りにされて困つて居るといふ

大日本電
平營業昇格

大日本電力平營業所はこの程二本松電氣との合併に伴つて九月一日から平事務所に昇格、初代事務所長には郡山事務所營業課長大越盛人氏が就任することになつたと

柔道優勝
神谷阿部君

神谷村青年團員阿部文平君はこの程福島市で開催された明治神宮國民体育大會本縣豫選柔道一般部に出場したが見事優勝晴れの出場權を獲得した

戰地から
奉公會へ

平市新川町大沼孝治君は目下前線で活躍中だがこの程銃後の活動資金にして下さいと金五圓を市銃後奉公會に戰地から送つて來た

昨日の地震

昨二十二日朝地方一帯をゆるがした地震は相當に感ぜられ氣の早い人は外に飛び出し棚から物が落ちたところもあつたが當日の地震を小名濱測候所で左の如く發表した

發震時午前九時六分四十四秒六總震動一分、最大震幅一、五〇〇ミクロン以上震源地は福島を距る東方一二〇キロ金華山南東鹽屋岬東北東一〇〇キロ沖、程度は輕く性質は緩であつた

窃盜罪求刑

小名濱町字松原目素工場職工大橋德一事金德用(三二)はこの程窃盜罪で平區に公判開廷檢事から懲役八ケ月を求刑されたが判決は二十四日、同人は女給の色香に迷ひ同僚の金や貯金通帖などを盜んではつぎこんだものである

天氣豫報

今晩も明日も南西の風晴夕立模様

平市人事

出生

△盤槌小路三三目下江名町折戸八田彦太郎氏二女京子さん

婚姻

△中鹽字一水口二七小泉公明氏(二八)草野村大字北神谷字前ノ作八渡邊幸子さん(二三)

死亡

△裨匠町四豊次郎氏孫富田トモ子さん(七)

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間冒險物語「少年漂流記」▼後六、二五講演「支那における外國銀行の現情」土屋計左右▼後七、三〇國民歌謡▼後七、三〇出征家族慰安の夕◎▼後七、四〇講演「出征將士と親ごころ」高原操▼後八、〇〇前線物語新京、北京、南京▼後八、二〇軍歌と歌謡▼後八、三〇物語▼後九、〇〇ラヂオ風景「前線ところどころ」

明日の部

▼前七、〇一朝の修養、自力本願「盡忠報國は自力本願から」山口光圓▼前八、〇五小學生の時間「鹿島神社勤勞奉仕狀況」▼前九、四五幼兒の時間「波がザンブリコ」はなびら會▼前一〇、〇〇衛生メモ▼前一〇、二〇家庭の時間「家庭經濟に見る無駄」平井恭太郎▼後〇、〇五祭文一奥州白石の仇討」石川亨文▼後三、〇〇婦人の時間朗讀▼後六、〇〇子供の時間冒險物語「少年漂流記」▼後六、二五講演、海軍少佐江口穂積▼後七、三〇國民歌謡▼後七、四〇ラヂオ小說▼後八、一五歌謡曲、松原操、伴奏東京放送管絃樂團▼後八、三〇時局談話「經濟統制と國民生活」商工大臣八田嘉明▼後九、〇〇浪花節「九段の母」天中軒雲月

亡父靈松院大瑞芳全居士の新盆に相當致し候へども時局柄提灯其他供物等固く辭退申上度く甚だ乍勝此段御承知願上度候
昭和十四年八月
平市研町十八
佐藤一

謹啓誠操院新盆に相當り候處時局に鑑み乍勝手提灯其他の供物等御贈與の儀固く御辭退申し上候
尚萬一御届け被、候とも乍失禮御受け致兼候に付右不悪御諒承願上候
昭和十四年八月
平市四丁目
猪狩庄平

亡父安樂院新盆に相當致し候へとも時局柄提灯其他供物等固く辭退申上度く甚だ乍勝手此段御承知願上度候
昭和十四年舊七月
平市六町目（魚問屋）
安孫子義秀

謹啓亡母房の新盆に相當り候處時局柄供物其他提灯等甚だ乍勝手固く御辭退申上候不悪御了承相成度此段謹告仕り候
昭和十四年舊七月
平市紺屋町三五
吉田久雄

謹啓時局柄佛前へ提灯其他供物等御贈與の儀固く御辭退申上候
尚萬一御届け被下候とも乍失禮御受け致兼候に付右不悪御諒承願上候
昭和十四年舊七月
平市南町一二
酒井保

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

戰國門言傳

第六十回

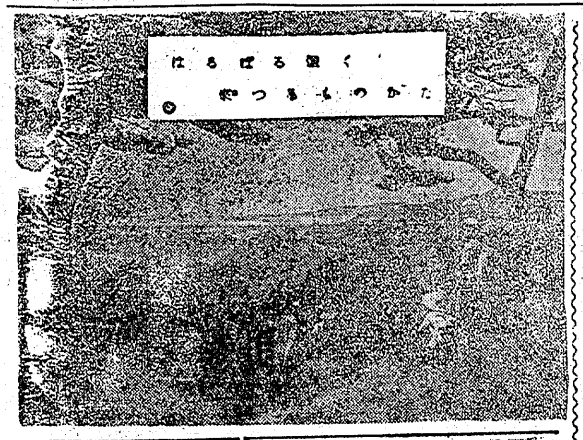
落日

大井沢龍作　山科一郎画

家庭と婦人

口の開き方一つで言葉は美しくなる

子供の發音はお母さんの責任です



「美しい聲を出したい」これは萬人の願望であると思ひます。

研究所の田口氏からかうすればどんな汚ない聲の人でもきれいな美しい發音をすることが出來るといふお話を聞きました。

日本語は今まで餘り美しく發音されてゐないやうに思はれます。發聲學者がやかましくなつてゐますが、それについても美しく發音するといふ事は大變必要です。東京發聲研究所田所主の發聲論によると聲が美しいか否ないかのすべての秘訣は聲帶も無論關係してゐますがそれよりも大部なのは口の形です或る發音にはその發音の波形があります。この波形はある口の形によつて定つたものが得られます。そのためにいろいろの口の形をもつてゐる人は彼山の波形をもつてゐる事ができるわけです

そこで美しい聲ですが、彼山の波形のうちには美しいものもあるはいゝと云ふ波形があるものです。この波形に對してはまたそれに對する口の形があるので、彼山の波形をもつて一方、いゝ波形をもつ事が美しく發音するために必要であり、そのためにはこの秘密の必要が出て來ます。ではどんな波に出發して練習すればよいか、例へば「カ」ですが、この「カ」の發音でも種々の口の形があります。即ち種々の波形があるわけでこの彼山の「カ」の波形のうちには美しいものもあるはいゝといふ波形があるものです。

そこで美しい聲ですが、彼山の波形のうちには美しいものもあるはいゝと云ふ波形があるものです。この波形に對してはまたそれに對する口の形があるので、彼山の波形をもつ